



[京都市の景観重要建造物]

景 018 (H18)

明治初期に建てられたこの建物は、明治12年に創業した澤井醤油本店が酒屋から買取り、明治16年に移りました。

新町通と中長者町通の北西角に位置し、中長者町通の南に面して主屋が建ち、その北側に別棟があります。新町通沿いには文庫蔵、室蔵、もろみ蔵が連続して建ち、主屋とともに豪壮な商家の面持ちを今に伝えています。

店舗専用の主屋は、木造中2階建てで、屋根形状は切妻平入り、1階は糸屋格子と豎目板張りによる腰壁で構成され、2階の虫籠窓と共に特徴的な意匠となっています。入口の展示室は、大和天井や敷石張りの土間が設けられ、京都特有の木桶が並び、その西側の作業場は大規模な吹き抜けとなっており、店舗独自の形態が見て取れます。

平成期に、主屋外観の補修、屋根の葺替え、1階の醤油作業室、中庭の整備と蔵の外観の補修がなされた際、建物全体に住み着いている麹菌が死に、澤井醤油の味が変わってしまうことが懸念されましたが、当時の職人たちの繊細で丁寧な作業により、無事改装を終えました。手間を惜しまず、作り続けられてきた澤井醤油の味は今も保たれています。



別棟



もろみ蔵

創業明治十二年



澤井醤油本店

〒602-8235 京都市上京区中長者町通新町西入ル仲之町292

電話番号 075-441-2204

アクセス 市バス「堀川下長者町」北東へ約7分

ホームページ <http://sawai-shoyu.shop-pro.jp/>